

## 栃木県地域がん登録室

大木 いずみ\* 佐藤 由紀子 阿久津 弘子 押久保 友美

### 1. 栃木県の概要

栃木県は北関東に位置し、特産物にはいちご（とちおとめ）があり、また観光地としては日光東照宮等世界遺産（平成 11 年 12 月指定）がある。

人口は約 200 万人、中核市である宇都宮市を含めて 31 市町（平成 20 年 4 月現在）あり、周囲を山で囲まれた内陸型の地形である。

県内には 5 つの保健医療圏があり、栃木県立がんセンターは都道府県がん診療連携拠点病院に指定されている。

死亡数は、18,184 人（平成 19 年人口動態統計概数）で、第 1 位悪性新生物 5,293 人（人口 10 万対 266.6）、第 2 位心疾患 3,022 人（人口 10 万対 152.2）第 3 位脳血管疾患 2,483 人（人口 10 万対 125.1）となっており、特徴と

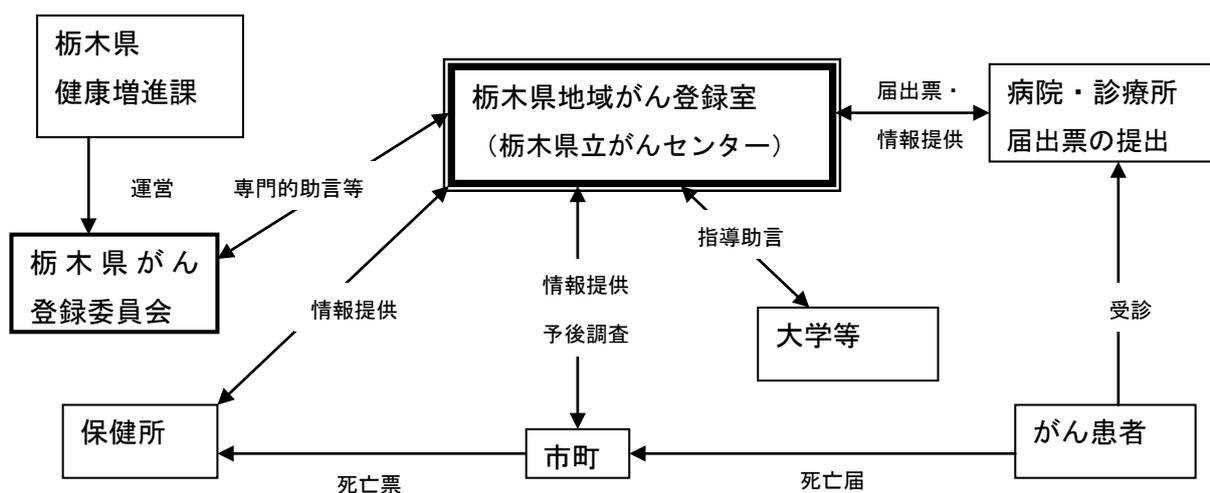
しては脳血管疾患の死亡数が多く、全国と比較しても高い数値となっている。

### 2. 栃木県地域がん登録事業の概要

栃木県では、地域がん登録事業を平成 5 年 4 月から栃木県医師会に業務委託してきたが、平成 20 年 4 月より県で実施することとなった。

届出医療機関は約 50 機関（県内病院施設数 115 施設 診療所 1,446 施設）で、医療機関から報告される届出票は年間約 7,000～8,000 枚、過去 15 年間の登録件数も約 10 万件にとどまっている。そのうえ当県は DCO 値が 40%を超えており、今後の課題となっている。

また、平成 18 年度より計画してきた標準化データベースシステムを、平成 20 年 7 月下旬に導入できることになった。



【栃木県地域がん登録事業体系】

\*栃木県立がんセンター

〒320-0834 東京都中央区築地 5-1-1

### 3. 地域がん登録の実施体制

地域がん登録室は平成5年4月から、栃木県立がんセンター内に設置された地域がん登録室で行っている。

地域がん登録室は、室長として医師1名(疫学専門医師)、担当職員1名(保健師)、嘱託職員2名の4人体制となっている。

### 4. 今後の課題

平成20年7月の標準化データベースシステムを導入後は、以下の課題に取り組む予定である。

- ①医療機関から報告される登録票の増加  
→DCO 25%以内にする  
地域がん登録事業のPRを兼ねた認知度について、実態調査を実施する。

#### ②遡り調査の実施

→平成20年度中に、第1回目の調査を実施予定。

#### ③生存確認調査(住民票照会)の実施

→3~4年後の実施を目指し、計画する。

#### ④県外医療機関受診者の対応

→県境居住者は、県外医療機関を受診していることが多い。県外医療機関に対しても、届出票提出を依頼していく必要がある。

#### ⑤後任者の育成

→職員、嘱託員とも異動等があるため、円滑に業務を引継ぐ体制を整備する。